

研修医報告ポスター（町元D）



今年初上陸の台風に出くわしてしまい、嵐のような研修になるかと思っただけだったが、鹿児島の研修時に比べれば終始穏やかであった。3回目の奄美ではあるが、まだ晴れた奄美はみてもおらず、通算10日雨だった。台風の後初めて晴れた奄美を見た。

研修は、初めての紙カルテと電子カルテのない病院で初めての研修であったので、戸惑い・ストレスは非常に大きかった。しかし、スタッフと日常業務のなかで話し、徐々に解決できた。今となっては特に問題はなくなった。病院の規模が鹿児島に比べ小さいので医局の先生方の顔が見えやすく、話がしやすかった。医局の雰囲気にもすぐに慣れることができた。

奄美の医療は、鹿児島のようにすぐ近くに幾つかの大きな病院があるわけではない。相談するにも決まった病院しかないの、病院同士のつながりが強いように思われた。

奄美は経済的な問題も多く、また地理的な問題も多い。片道1時間ほどかけて来られる方も外来ではみられた。このような環境が必要なきに簡単に病院が受診できない要因となっていると思われる。まだまだ、問題を把握するには至っていないが、周囲の方が話をしていたことを実際に研修したことで少しは理解できたかと思う。

奄美での研修は、短くなった上に、自然を満喫することもできなかったが充実していた。

